

南部地域療育センターそよ風 2023 年度保護者等からの事業所評価の集計結果

1. 自己評価概要

実施時期	2023年2月1日～2月17日	回答方法	アンケート用紙と Google フォームによる匿名回答
回答状況	配布 55 人、回答 41 人、回収率 75%		
公表	2024年3月30日		

2. 自己評価集計結果

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者のご意見	ご意見を踏まえた対応
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本館ではクラスの園児数によっては狭いかなと思う。 ・活発に動き回る子どもが多いと狭く感じる。 ・親子登園すると少し狭い。 ・園児の定員が増えたことにより、少し狭くなってきたと感じることがありました。 ・とても広々としていて保育室以外のスペースもたくさんあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の整理などをしながら安全に環境を整えます ・とりくみに応じて遊戯室などを利用します。
②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	21	12	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人数・訓練士の人数を増やしてほしい。 ・場所や状況によって職員をサポートで増やしているのか保護者からは分かりづらいので教えて頂けると安心にも繋がると思う。 ・少ないというよりは、慣れない職員ひとりになった時に不安を生じます。 ・ほかの施設よりは職員は配置されているが、衝動的に動く子が多いクラスなどは、先生の手が足りていないと思う。職員の負担が大きいように見える ・日々の業務に追われ専門性が損なわれています ・専門性は適切だと思うが、配置数は足りないと思う場面が多くありました。 ・専門の先生をふやしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員数としては適切に配置していますが、職員の専門性向上のために、研修等を位置付けていきます。 ・専門職との連携を、水曜日に行う、親子療育日に保護者への伝えをしていきます。
③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	32	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーではないため、段差などがきになる。 ・小さな段差など本人にとって危険だと思うところがありますが、先生がたの声かけ等で補っていただけていると思う。 ・高いところを登る子に対しての安全対策をもう少し工夫してほしい ・居室と遊ぶところが広いです ・教室の段差などが気になる。 ・子どもそれぞれにマークが振り分けられていて、自分の場所が分かりやすいようになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設年数が経過しているので、必要などころからバリアフリーを整えていきます。 ・子どもにわかる生活づくりを子どもに応じて整えます。
④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	30	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・西館はきれいです。 ・廊下が汚い。 ・本館は設備が古いので、補修が追い付いてないところがあると思う。 ・建物の古さ故に最新の療育が受けられないとしたら残念だが、職員の方たちの創意工夫のおかげで楽しく過ごせる空間になっていると思う。 ・西館はいつもキレイで、エアコンもあるため夏も冬も快適です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・順次、修繕や改修を行います。 ・工夫をして安全な生活空間、環境を整えます。 ・日々の清掃を丁寧にしています。
⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか。	37	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり具体的に計画が作成されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に計画を作成し、保護者に伝えます。 ・わからないことには懇談などでご質問ください。

⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	34	0	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事を、きちんと観てくれて、計画を立てて、時間をきちんと取って、話してくれています…。日々のことは、毎日のように伝えていただけるとありがたいです。 ・しっかり具体的に計画が作成されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援の部分では、利用している地域の事業所と連携をすすめます。 ・児童発達支援の制度や支援の内容について、保護者の方にもお伝えします。
⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の出来ること苦手なことをしっかり見て支援をしていただけてと思う。 ・みんながよくしてるから、発達が、良くなってきてる ・日々やっています 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保護者とのやり取りをより丁寧に行い、子どもの様子を共有していきます。
⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	37	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの興味関心があるものを色々考えて頂いて楽しめていると思う。 ・取り組みなどいろいろ工夫されています。 ・いつも色々なことを体験させていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の取り組みのねらいや意図を、保護者の方に伝えることをより丁寧に行います。
⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流など、地域の子どもと活動する機会があるか。	20	6	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の彼らにとって、障害のないこどもとの交流が必ずしも必要だと思わないし、質問の意図がわかりません。 ・地域の保育園・幼稚園ともっと交流があるといいと思う ・障がいのある子との活動する機会がなくていいと思います。危険だなと思います。 ・今年のはじめて同施設内の保育園の子どもたちと遊ぶ機会を設けてもらえていい刺激になったのではないかと思います。園庭が保育園と共有であり、行事も一緒のことがありました。 ・そういった活動があったか記憶にない。 ・地域の保育園との関わりを増やしてほしい。 ・菜の花保育園との交流があるとよいと思う ・夏まつりなど、イベントは「交流する機会」ではあったけれどはいと答えられるほどではなかったため ・障害のない子どもたちの園に行って交流があるといいなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって、色々な人との関わりを広げることは大切なことと考えています。子どもに応じて関りを広げていきます。 ・同法人内の保育園と交流する機会を検討します。
⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	38	0	0	1	入園前に説明されました。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も年度初めに行います。
⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	38	0	0	1	しっかり説明を個人ですて頂きました。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人懇談を行い保護者の方に子どもの姿と合わせて支援計画をお伝えします。
⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)がおこなわれているか。	34	2	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修(クラス)資料で勉強になる。 ・親子登園の時に先生と話す機会があるので、その時にどうしたら良いかのアドバイスももらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に適切にお伝えできるように職員の研修や学びを深めます。 ・保護者のニーズの把握を行います。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	35	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で伝達ミスがある。 ・先生達がよくわかるように、説明して下さるから助かります ・お迎え時に報告受けています。 ・毎日、何をやったのか教えていただけるとありがたいです。伝えられない時は、連絡帳を書いて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の連絡帳で子どもの状況をできるだけ細かくお伝えします。 ・気になることは遠慮なくご連絡ください。

⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	38	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく説明を聞きました。 ・その都度していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水曜日親子療育日にできるだけ保護者の方と子どもの姿を共有します。
⑮	保護者会の活動支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	37	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・係によって親の負担が多すぎる 先生にもっと寄り添ってほしかった。 ・保護者同士の交流はたくさんありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親の会の働きに感謝いたします。職員と共に保護者の連携が
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	34	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことある時先生に聞きます。 ・即日対応の日もあれば、保護者によっては2週間後の対応だったということもあるらしく 時と場合によるのかと思われます。 ・迅速かつ適切ではないと思う。 ・その都度対応して頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で連携を取りながら、早めの対応を行います。
⑰	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	32	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えた事を忘れられることや、クラス担任全員には伝わっていないことがあった。 ・担任間での伝達できていないことが結構あって不安になった(休みの電話を朝したが、保育終了後の時間に別の担任からどうして休みかと電話がかかってきたなど) ・されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内での伝達漏れのないよう、職員間で「ほうれんそう」を大切にすすめます。 ・コモンを利用し始めるので、連絡事項の入力をお願いします。
⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	37	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・そよ風だよりやクラスだよりで、行事のことや結果など発信されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な園だよりなどで予定や情報をお知らせします。
⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	34	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を共有はしないでほしかったです。 ・たまに連絡帳などの入れ間違いがある。 ・文章や口頭でアナウンスをよくして下さったおかげで、トラブルに合わずに過ごせた。 ・たまに荷物の入れ間違いがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートの入れ間違いは、連絡ノートアプリを利用することで入れ間違いを減らします。 ・名前の記入にご協力をお願いします。 ・情報の取り扱い
⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	34	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯マニュアルについては説明受けていないと思います。 ・防犯マニュアルについては聞いたことがありません ・定期的に避難訓練やっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルについては保護者に周知をします。
㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	38	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の防災訓練なども行っただけなので、緊急時子供達もはじめてじゃないことが安心できると思う。 ・避難は、時間がかかるものなので訓練があるのは、有難いです ・保護者への受け渡しまでなど、細かなところまで訓練をしていただいていると思う。 ・訓練はきちんとされていると思う。 ・歩けないから、移動するにしても、大変だなんて思いました ・定期的に訓練が行われていて良いと思います。 ・その都度、マニュアルが変わっていき、きちんと紙面で伝えて頂いているのでありがたいです。 ・訓練に対しては気をつけてやっているとします。 ・定期的に避難訓練やっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の防災訓練を、内容を柔軟に設定して行います。

⑳	子どもは通所を楽しみにしているか。	36	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方には個々に配慮した保育をしていただきいつも感謝しております。 ・息子は毎日バスの中に泣いてるけどそよ風に着いたときほんとうに嬉しそう。 ・バスが楽しめていないのでバスに乗ることに対して期待になるものがあると良いなと思います。 ・子どもが先生やお友達に会えることを楽しみに通所できています。 ・療育つくと、喜んでるから楽しみなんだなって思った ・そこに行く見通しがたつとうれしそうにバス停に向かっていきます。毎日楽しく過ごせているようです。 ・子供にとって、そよ風は楽しくて安心できる居場所になっていたと思うます。毎日ルンルンで家を出る準備をしていました。 ・「そよ風に行くよ」と言うと、通園用リュックを自分で持ってきます。楽しみにしているようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちが楽しく園に通っていたできるように、職員集団で子どもたちを理解し、内容づくりをします。
㉑	事業所の支援に満足しているか。	35	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・満足してます ・市の規定なのは分かっていますが、親子登園の回数を少し減らしてほしいです。 ・子どもにとっては過ごしやすい環境だと思うが、保育園やデイサービスに比べると親の負担は大きいのではないと思う。 ・事業所のサポートが全くわかりません。 ・担任の先生同士の空気が悪い ・担任同士仲悪そうなのでまとまっていなまま1年が終わる ・親子登園の際、段取りが悪く待たされる事が多い ・話す時距離がすごく近い先生がいる ・先生同士の情報共有ができていない ・休みやバスの連絡を事前に行っているのに伝わっていない ・連絡ノートに『生活キログ』とよく書く先生がいますが、どういう理由の時に生活キログになりますか？ 子どもは喋らないのでその日何をしてきたのか全くわかりません。 ・子どもの身体の特徴に合わせた支援をしていただき、大変助かっています。熱がこもりやすいので、しばしば発熱していたと思いますが、クーリングをしたりして、経過を丁寧に診てもらい、本当に助かりました。 ・施設がより、新しくなれば、なおいいです。 ・満足どころか、大大大大満足です。本人だけでなく、親や家族についてもきめ細やかにサポートしてくださり、本当にありがとうございました。 ・いつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園は通園療育で大切にしたいことであり、引き続き、ご協力ください。 ・保護者の方と子どもを真ん中にしてお話しできる機会となっています。

以上の結果を公表致します。頂いた意見をもとに、保育内容等の改善に努めていきます。

アンケートへのご回答ありがとうございました

管理者:佐藤明裕 児童発達支援管理責任者:元田香織
療育主任:濱田美穂

事業所における自己評価表

公表:令和6年3月30日

事業所名 南部地域療育センターそよ風

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		椅子等で狭くなってしまうので、必要に応じてテラスに出している。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準は満たしています。職員の基準の理解を促します。 ・手狭な保育室もあるため必要に応じて遊戯室などを使用します。
	②	職員の配置数は適切である	○			<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況に対してパート職員を配置します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		老朽化から修繕が必要な箇所があるため、その都度修繕している。	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕を計画的にすすめます。 ・保育環境を工夫しながら、子どもが安全にわかりやすい保育環境を作ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・修繕が必要な箇所がある。 ・子どもが落ち着ける箇所があると良い。 ・クラスの整理整頓をする時間がないため、朝の時間を活用して掃除を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室や廊下を利用して、子どもが落ち着けるスペースを確保します。 ・日課などからも子どもがほっとできる時間をつくります。 ・清掃時間には、危険箇所の発見に努めます。 ・扉が開けにくい、トイレの水が流れにくいなど、順次修繕します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育や行事のふり返しをし、次に活かしている。 ・話す時間を職員間で設けることで意識をもって業務を遂行している。 ・時間のある時にも共有し、他クラスから意見をもらうようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会や日々の振り返りのなか PDCA サイクルを意識した話し合いを進め、週案や月間計画に反映させていく。 次の支援内容を具体化するところ(A)を丁寧に行います。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い意見を多方向から得ることができ、改善策を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親の会の要求アンケートからも事業内容を振り返っています。今後も継続します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親の会(役員会)にて、保護者の意見を知り、園の考えを伝える場を設けている。 	

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			・第三者評価は実施していない。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		実践課題や情勢から研修計画を立てている。	研修の機会だけでなく、職員間での学び合いや振り返りの機会を検討します。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者と話し合う機会を設けることで、子どものことをじっくり考えて、計画を作ることができる。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたものではない。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			報酬改定に伴い、支年計画書式の見直しを行います。特に新入児には保護者と目標をわかりやすく共有できるように、5領域を丁寧に伝えるよう努めます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・児童発達支援計画を確認する機会が何度もあることで、職員も確認できる。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・クラス内で考えるようにしている。パートさんの協力もあり、クラスのケースの時間がふえたように思う。 ・担任以外も意見を出し合っている。	・
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・行事は昨年度のふり返りや子どもの姿から、ねらいや具体的な内容を検討している。 ・子ども目線から考えていることから、楽しいものを何個もレパートリーとして持っている。	年間行事の見直しを行った。ねらいや内容作りを工夫して取り組みます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・新入児のみ、個別療育を実施している。進級児は行っていない。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日誌にて記入しているが、今後は PC での記録になると記入を検討しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングとして家庭訪問をしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		家庭はもちろん他の機関とも連携している。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じてケース会議を行っている。	医療的ケアが必要な子どもについての知識がない職員もいるため、情報共有や学習を進めます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・職員全体で共有している。 すぐ連絡が取れるようにマニュアルもある	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ資料を事前に送付し、引継ぎ巡回を行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園での状況がわかるように共有している。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携していただいた意見も受け止めている。	コロナ禍の延長線上により、復活していない。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		菜の花保育園との交流を持った。	・隣接保育園の園児との交流の機会を今後も作っていきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		園での様子、家での様子を共有している。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		おもちゃの貸出を行っている。 クラスケース会議を行っている。	クラス研修、全体研修、親の会の研修を行います。
する。 保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		保護者との面談の際などに丁寧につたえている。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		面談で丁寧に伝え、同意を得ている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		ノートや聞き取りから一緒に考えている。	引き続き保護者との連携を大切に、親子登園日だけでなく随時懇談を行います。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父親どうしがつながれるのが嬉しいとの声もある。親の会にも積極的に職員が入っていきたい。	父親の交流や研修会も検討します。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			電話連絡も含め、迅速に対応します。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		おたよりとして発行している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報 は 溶解 に出している。	持ち帰り仕事をしている職員もいる。 連絡ノートの入れ違いがある。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		家庭の事情に合わせて迅速に行っている。	
	④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		法人として、地域も参加できるイベントを開催している。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月訓練を行っている。	コドモンを利用し、必要な情報を閲覧できるようにします。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		子どもたちが集まれるよう、さっと出せるおもちゃを用意している。 避難訓練を行っている。	引き渡し訓練、防災食の試食など行います。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		必要な子どもの物品を補充している。 連絡ノートなどで状況を聞きとっている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		マニュアルに沿って行っている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を書き、共有している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年全職員で行います。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		面談で説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。